NEWS RELEASE

2024年12月5日
株式会社みずほフィナンシャルグループ

Mizuho Sustainability Focus 2024の発行について

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原　正裕）は、本日、Mizuho Sustainability Focus 2024 「社会課題の解決と経済成長の両立に向けた〈みずほ〉のアプローチ～“グランドデザイン”を目指し、脱炭素、そして、その先へ～」を作成し、公表しました。

【Mizuho Sustainability Focus 2024
「社会課題の解決と経済成長の両立に向けた〈みずほ〉のアプローチ～“グランドデザイン”を目指し、脱炭素、そして、その先へ～」】
URL：https://www.mizuho-fg.co.jp/csr/mizuhocsr/report/pdf/msf2024.pdf

本レポートでは、持続可能な社会・経済の実現に向けた〈みずほ〉のアプローチと注力領域についてお伝えしています。

社会課題は多様化・複雑化の一途をたどっていますが、〈みずほ〉は、社会課題の解決と持続的な経済成長の両立こそが重要だと考えています。その観点から、我が国としてカーボンニュートラルの実現を目指す2050年のありたき日本の産業構造を“グランドデザイン”として描きました。これは、長年培ってきた産業知見を基にした〈みずほ〉ならではの取り組みであり、国内外の金融機関としては類を見ない挑戦です。
また、これを目指して〈みずほ〉が取り組むべき注力領域を概説しました。脱炭素化に向けた足元のトランジション支援、将来に向けた水素社会の実現やカーボンクレジットを通じた資金供給メカニズムの発展、環境課題への統合的な取り組みとしてのサーキュラーエコノミーの形成、すべての社会課題を統合するカギとなるインパクト評価など、産業競争力の強化や企業価値向上の視点でまとめています。

〈みずほ〉は、1873年に日本で初めての銀行「第一国立銀行」として創業以来、いつの時代も日本の産業構造転換を支え、社会をリードしてきました。世の中の変化を先読みする「産業知見と技術の目利き力」、産官学のネットワークを背景にした「事業や技術をつなぐ力」、そして長年の資金の出し手としての経験に裏打ちされた「ファイナンスアレンジ力」は、〈みずほ〉の強みと自負しています。
今後も〈みずほ〉は、「ともに挑む。ともに実る。」というパーパスのもと、社会課題の解決と持続的な経済成長の両立に向け、お客さまとともに取り組んでいきます。

以　上

ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO